

山陰経済

経済情報は本社政経部へ

TEL0852(32)3330

新発売の商品やサービス

合同でプレス発表

松江商工会議所
松江と松江市
協同連携

松江商工会議所と松江市内の3商工会でつくる「松江地区商工会・商工会議所連携協議会」(会長・古瀬誠松江商議所会頭)が4日、同市内で会員企業による第1弾の合同プレス発表会を開いた。集まった新聞社やテレビ局計7社の記者に対し、新発売の商品やサービスをPRした。

大規模な企業に比べて知名度が低く、マスコミとの接点も少ない中小規模事業者のために発表の場を設け、ニュースに取り上げてもらうきっかけにするのが狙い。アピール点を的確に伝えようと、事前勉強会を設けるなど準備して臨んだ。

参加した会員企業8社はブースで試食や試飲を勧め

たほか、5分間の持ち時間で特長を発表。出雲市斐川町特産の西シヨウガを使ったジンジャーエールといった新商品や遺伝子を解析し、食生活の改善や効果的なダイエット方法に生かすサービスなどを説明した。このうち、板金加工の山

陰総業(松江市東出雲町揖屋)は、有田鐵男専務が漢字をかたどった鋼製のアクセサリーを紹介。海外から境港に入るクルーズ船の乗客向けに即売会を開き、好評を得たエピソードを示しながら、「本社の商品展示場があるので、見に来てほしい」と呼び掛けた。土産物卸業のみやげ山海(同市東津田町)は加工食品の「大山鶏おこわ」を宣伝し、もち米と具材を袋か

ら出して炊飯器で調理すれば簡単に食べられる「手軽さ」を強調した。発表会は11日も開き、来年1月にも予定している。



商品の試食を勧める参加企業の担当者(左側)
—松江市母衣町、松江商工会議所

地場 8 社、合同で P R

松江商議所など初の発表会

松江市母衣町の松江商工会議所で 4 日、同会議所に加盟する 8 社による新商品の発表会が開かれた。合同で開くのは初めてという、



自社の新事業を P R する参加者 (右)＝松江市の松江商工会議所で

松江、出雲両市の企業が新商品や新事業を P R した。

松江商工会議所など 4 団体が主催した。中小企業が連携し、商品

を広く知ってもらおうと狙い。マスコミや行政、金融機関の担当者らが訪れた。

最初に各企業がプレゼンテーションし、「仕出し宴会いとう」(出雲市斐川町)は地元特産のショウガを使った「シンジャーエール」

を紹介。また、リサイクル業「こっこー」(広島県呉市)の松江営業所はガラスのリサイクル品を使い、雨水をためて緑地帯を作る「省管理型緑化システム」を発表した。同社の津村斐子さんは「事業を知ってもらおうきっかけになった。広報の仕方

などが勉強になった」と話した。

11 日にも発表会があり、鳥取県米子市や安来市からも計 10 社が参加する。

【藤田愛夏】

松江地区商工

合同プレス発表会

会員 8 社が アピール

松江市内の 1 商工会議所と 3 商工会の所属会員による合同プレス発表会が 4 日、松江市内で開かれ、会員 8 社が新製品や新サービス



自社製品をアピールする参加者＝松江市内

について県内マスコミにプレゼンテーションをした。

このうち、鋼材加工や資源リサイクルを手

掛ける「こっこー」(広島県呉市、榎岡達真社長)は、廃ガラスを加工した無機系多孔質軽量発泡資材「パワーステム」の省管理型緑化システム「WATER WITH GREEN」を紹介。スーパーソルを敷き詰めた貯水槽と、緑地を組み合わせた自然循環型のエクステリアについて説明した。

11 日には 10 社が参加する後半の部が開かれる。